☆授業のヒント

今回も、前回にひきつづき、慣用句の教え方や練習の方法をとりあげます。

テーマ 慣用句を覚えよう(2)

目的・教えること
顔や体の部分の名前を使った慣用句の意味と使い方
学習者のタイプ
初級後半から中級
クラスの人数
一人～何人でも
準備するもの
絵をかく紙など

前回は、慣用句を教えるための練習問題の例を紹介しました。今回は、その他の教え方や教室活動を紹介します。

◆紹介・整理の方法

1）同じことば（顔の部分など）を使う慣用句を集めて紹介・整理する

同じことばを使う慣用句を集めると、二つの効果があります。一つは、それぞれのことば（目や口、頭など）がもともとの意味から発展してどんな意味を持つようになったかを知ることができます。二つめは、グループを作ることで整理したり覚えやすくすることができます。下の例を見てみましょう。

●例●「目」‥‥

「**目がきく**」‥‥ものの価値がよくわかり判断することができる

「**目が高い**」‥‥いいものを選ぶことができる

「**目を丸くする**」‥‥驚く

「**目を三角にする**」‥‥怒って目つきがこわくなる

「目」は何かを見るときに使いますから、見て判断する能力を表します。また、気持ちの変化で目の様子が変わることもありますから、感情表現にも使われます。

●例●「口」‥‥

「**口が軽い**」‥‥言ってはいけないことを話してしまう

「**口が重い**」‥‥あまりしゃべらない

「**口が堅い**」‥‥言ってはいけないことは話さない

「**口を出す**」‥‥自分に関係ない話に参加する

「口」はことばを話すときに使いますから、話すことに関係がある慣用句が多いです。

●例●「頭」‥‥

「**頭が固い**」‥‥考え方が古くて、なかなか変えられない

「**頭が痛い**」‥‥悩みや心配なことがあって、困っている

「**頭が上がらない**」‥‥相手にひけめを感じて強く言えない

「**頭が下がる**」‥‥人柄や行いのいい人を尊敬する

「頭」は考えるときにも使いますが、それだけでなく、体の中で一番高い所にあって、尊敬する人や苦手な人の前では自然と低くなるものです。

このように、同じことばを使う慣用句を集めて、そのことばの発展した意味を知ることは、慣用句を理解するときに役に立つでしょう。

2）似ている意味を表す慣用句を集めて紹介・整理する

●例●驚く

「**目が飛び出る**」‥‥予想外に値段が高くて驚く

例文）レストランでごうかな食事をした後、お金を払うときになって請求書を見たら**目が飛び出た。**

「**目を丸くする**」‥‥意外で、不思議だと思う

☆☆☆

例文）祖母はゲームの中の動物がえさを食べたり大きくなったりするのを見て**目を丸くした**。

「**腰を抜かす**」‥‥たいへん驚く

例文）もし200年前に生きていた人が飛行機や新幹線を見たら、**腰を抜かすだろう**。

「**舌を巻く**」‥‥すばらしくて感心する

例文）10歳の少年のすばらしい演奏に、大人の音楽家たちも**舌を巻いた**。

同じ「驚く」ことを表す慣用句でも、慣用句によって驚き方の程度や何に驚くかがちがいます。紹介したり理解を確認したりするときには、上のような例文を作って、状況を説明させることが大切でしょう。

◆ いろいろな教室活動

1）いくつかの慣用句の意味や使い方を学習した後で、慣用句の意味を考えた絵を書かせ、クイズを作らせる（絵A、絵B、絵Cを参照）

●例●

絵A　目を細める……うれしいとき、かわいいものを見るとき、ほほえむ

絵B　鼻が高い……自慢したり、得意に思う

絵C　首を長くする……楽しみに待つ

2）慣用句を使って自分のことや身の回りのことについて文を作らせる

●例●

目がない‥‥大好きだ

・私は、甘いものが好きで、特にケーキには**目がない**。

口が重い‥‥あまりしゃべらない

・父も私も**口が重い**ので、二人でいると会話が続かない。

絵A

（クイズ）

かわいいものを見るときに細くなるものは？

（答）目

絵B

（クイズ）

自慢するときに高くなるものは？

（答）鼻

絵C

（クイズ）

楽しみにまっているときに長くするものは？

（答）首

＊クイズのことばは、母語でもいいでしょう。

3）母語の慣用句を日本語に直して、意味を比較させてみる

●例1●

（インドネシア語　TEBAL MUKA、ベトナム語　Mặt dày）→顔が厚い

意味：何を言われても平気で恥ずかしいと思わない。ずうずうしい

＊日本語では、「面の皮が厚い」ということばで同じような意味を表します。

●例2●

（インドネシア語　MANIS MULUT、タイ語　ปากหวาน）→口が甘い

意味：調子よくほめること（本当はそう思っていないこともある）

（ベトナム語　Dẻo Miệng）→口がやわらかい

意味：調子よくじょうずに話す（悪い意味で使う）

＊日本語では、「口がうまい」ということばが意味が近いようです。

●例3●

（インドネシア語　BESAR KEPALA）→頭が大きい

（ベトナム語　Nổ mũi ）→鼻の穴をふくらませている

意味：ほめられて得意になっている

（デンマーク語　SÆTTE NÆSEN Ì SKY）→空へ鼻を向けている

意味：①他の人より優れていると自信を持っている

②自信があって、はつらつとしている

＊日本語では、「鼻を高くする」ということばが、少し意味が近いようです。

●例4●

（タイ語　หูผึ่ง、デンマーク語　GØRE STORE ØRE）→耳を大きくする

意味：びっくりするようなことを聞いて、さらに聞きたがる

今回のこのコーナーには、国際交流基金日本語国際センター、1996年度海外日本語教師長期研修生の次の方々のご協力をいただきました。

NGUYEN HIEN, Thinh（ベトナム）、JESPERSEN, Malene Hovgaard（デンマーク）、RETNO, Mumpuni、TITIEN WAHYU, Andarwati、SATJADIBRATA, Soeriandi（以上、インドネシア）、KAMONYABUT, Jirawan、PAKSEE, Sakesit（以上、タイ）

■参考文献■（28号と同じ）

『豊富な文例つき　分野別・日本語の慣用表現』（1992）小笠原信之著　専門教育出版

『すぐに使える実践日本語シリーズ　おぼえて便利な慣用句（初・中級）』（1994）田仲正江、間柄奈保子共著　専門教育出版

『まんがで学習シリーズ　おぼえておきたいきまりことば（慣用句）事典』（1992）内田玉男著、村石昭三監修　あかね書房発行

『言いたい内容から逆引きできる　例解慣用句辞典』（1992）井上宗雄監修　創拓社発行

『日本語教育事典』（1982）日本語教育学会編、小川芳男、林大、他編集　大修館書店

今回も前回にひきつづき慣用句をとりあげました。皆さんのクラスでどのように慣用句を教えているか、あるいはこのコーナーで紹介した練習を実際に使ってみてどうだったかなど、感想やご意見をお寄せください。それでは、また。

このコーナーの担当者：久保田美子、八田直美（日本語国際センター専任講師）